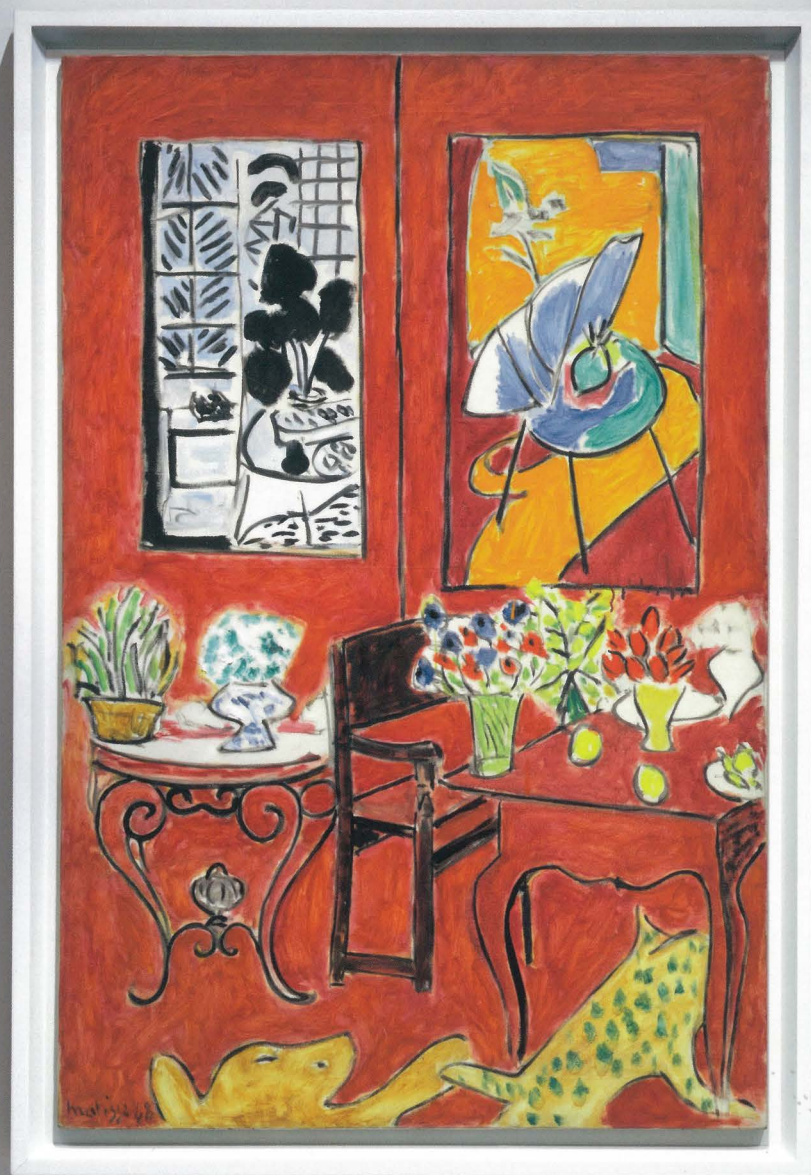


芸術新潮

Geijutsu Shincho

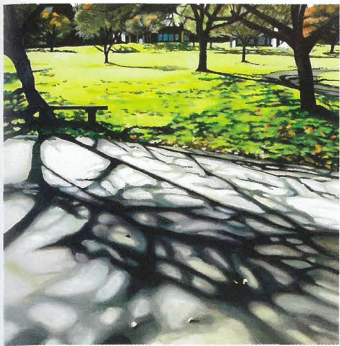
June 2023 **6**



特集

Henri Matisse マチスのとびら

解き放たれた色と形



《contrast》2022年
41.0×41.0cm

大田和亜咲宜新作展

東京店：6月1日～10日(日は休)
大阪店：6月15日～25日

光と影に彩られた、さりげない日常の光景を描いて活躍中の若手女流画家、大田和亜咲宜が、同画廊では4年ぶりの個展を開催する。捉えがたい、ふとした瞬間を色鮮やかに切り取る彼女の作品は、誰もが持つ記憶の中で、儚くも鮮明に残る感覚を、心地よく呼び起こしてくれる。今回の出品作では「自然物が織りなす光と影」を新しいテーマとして描き、美しさと儚さの共存する世界を映し出す。

翠波画廊

〈東京店〉 ☎03-3561-1152 東京都中央区京橋3-6-12 正栄ビル1階
〈大阪店〉 ☎06-6867-9570
大阪府大阪市北区梅田2-2-22 ハービスPLAZA ENT 3階



《How About We Just Hand Out And Not Read》
2023年 92×122cm

トム・クリストファー展

東京店：5月13日～6月11日
大阪店：5月20日～6月11日

鮮烈な色彩とダイナミックな筆致でニューヨークの息吹を伝える現代アメリカアート界を代表する作家、トム・クリストファー。作家の持ち味である鮮やかな色彩のよるタブローと、優れたデッサン力が際立つモノクロの新作約70点(東京40点、大阪30点)を紹介。スニーカーにペイントを施した作品も新たに発表する。

ギャラリーためなが 〈東京店〉 ☎03-3573-5368 東京都中央区銀座7-5-4
〈大阪店〉 ☎06-6949-3434
大阪府大阪市中央区城見1-4-1 ホテルニューオータニ大阪1階

PICK UP



《星游园屏風》2023年
182×228cm

画集刊行記念 松岡歩 日本画展 ～想いが生まれるとき～

6月7日～13日

個展やグループ展を活発に行い、SNSでも多くのフォロワーに支持される松岡歩。「私にとっての制作とは、それぞれの体験から生まれる感情の記憶や、それを取り巻く環境から生まれる『想い』を形にすることだと思っています。」「(『松岡歩画集～想いが生まれるとき～』の序文より抜粋)。マンボウやオオサンショウウオを始めとする水中の生き物からシロクマやジャガー等の動物、そして植物等々。多彩なモチーフを豊かなイマジネーションで描く松岡。岩絵具の温かな風合いとヴァリエーションに富んだ優しい色調が、命の息づかいを伝えながら、観る者を幻想の世界へと誘ってくれる。今回の展示では屏風を含む約30点の作品が並ぶ予定。

西池袋本店 6階 美術画廊

☎03-3981-0111 東京都豊島区南池袋1-28-1

取材・文 | 刃刀知子(以心伝心) デザイン | 大野リサ

G	A	L	L	E	R	Y	'	S
P	L	A	Z	A				
				MAY		›		JULY



《新緑》2023年
65.2×91.0cm

青木香保里展 —初夏のこと— 5月18日～6月2日 (日は休)

「DOJIMA RIVER AWARDS 2016」優秀賞、「第7回 東山魁夷記念 日経日本画大賞」入選など、注目の美術展への出品歴を重ねる青木。静謐な作風には、自然に向けられた透徹した眼差しが感じられる。今回は初夏の頃の街を歩き、植物園や水族館といった、人の集まる場所で目にする自然の光景をテーマに新作を発表する。

新生堂

☎03-3498-8383 東京都港区南青山5-4-30



坂田源平《ウサギ》2023年
31.4×15.5×18.7cm

坂田源平・三松拓真 二人展

6月16日～7月1日(月は休)

無邪気で素朴な表現を通して、おかしみや悲哀、可愛らしさを持った動物を作る坂田源平。車や動物などをモチーフにエネルギーを生み出す三松拓真。共に木彫を中心に作品を発表する作家だが、今回の展示では平面作品も含め立体的に構成し、ユーモラスで不可思議な世界を展開する。

GALLERY SCENA ギャラリーセナ

☎03-6805-0887 東京都渋谷区神宮前6丁目15-17 クレストコート神宮前1階



銀座開廊50周年記念
企画第3弾

馬越陽子展 —人間の大河— 6月6日～21日(日は休)

《人間の大河—明日を》
2022年 91.0×116.7cm

永井画廊史上最多の1200人以上の来場者数を記録した1995年開催の馬越陽子初個展。その伝説の展示会をここに再びという思いで企画された。人間生来の純粋、無垢な精神への憧憬から、「人間の大河」という壮大なテーマを掲げ、油絵の道を一途に歩んできた馬越。「油絵具を食べちゃいたいぐらい好き」という油絵愛から生まれる、瑞々しく生命感溢れる馬越芸術を披露する。

永井画廊

☎03-5545-5160 東京都中央区銀座8-6-25 河北新報ビル5階